

**2018(平成30)年度**

**社会福祉法人 県央福社会 事業報告書**

社会福祉法人 県央福社会  
理事長 佐瀬 睦夫

( ) 内数字は回数

①. **はじめに**

2018年度は、3年ぶりに損益計算書が黒字化しました。しかし、資金収支計算書ではまだ、3千万円ほどの赤字です。役員及び執行役員・エリアマネージャー・所長・職員が一丸となって財政の健全化に取り組み、収入増と人件費等の支出削減の結果、約2億円増となり改善傾向に向かったことを報告する事が出来ました。

しかし、組織の肥大化は、日々の業務を始め利用者主体とご家族の意向に沿った支援・療育・保育・高齢者介護・相談・医療の各分野がどれほど達成できたのか真摯に振り返る必要性を感じます。職員一人ひとりが他責の文化に押し流されず、今年度も時代のニーズや多様化した社会福祉法人本来の社会的役割を担っているだろうか。考えさせられる年度でもありました。

例年のごとく各職員は法人や各事業所は利用者さん等への日々の活動や支援、業務への取り組み(日中支援事業所の送迎や個別支援計画(保育計画)等への取り組み)や日々の記録等の作成に多忙な日々を送ったことでしょう。

2018年度の大きなテーマは、業務の省力化と効率化を目指し各事業所の職員同士が良いコミュニケーションとチームワークを大切にしながら残業の削減の取組でした。年間2億円以上あった残業代は約半減しました。支出の削減への取り組みとともに利用者さん一人ひとりの利用率向上にも取り組みました。このような取り組みは職員一人ひとりが質の高い業務の遂行力と職員の専門性の向上に繋がります。そこで、今年度は業務遂行力を高めるために業務マニュアルの整備に着手したことと、ペーパーによる記録(日誌・支援計画書・個別記録・利用者一人ひとり概要等)をコンピューターによる記録ソフトを法人として統一したものにするために検討会を立ち上げました。また、働き方改革による職員の電子管理による勤怠管理システムを導入し1分間単位の残業時間の管理も行いました。

また、県央福社会始まって以来の65歳定年退職者も5名排出しました。少子高齢化社会と労働力不足の中、2019年度採用は目標を達成しました。残念ながら離職率が2017年度7%台まで下がったのですが2018年度はまたしても8%台になりました。私たちは、職員一人ひとりが辞めない職場づくりと利用者にとっても職員にとっても魅力ある各事業所と法人づくりを目指したいと思います。

一方、疾病等による傷病休暇等を取る職員も多く、労働環境等の改善も必要です。2018年度の働き方改革に伴い、有給休暇の取得や残業の削減を目指します。

また、社会福祉法人の使命というべき地域貢献活動として、上半期は日本国内で自然災害が多発したこともあり、神奈川新聞厚生文化事業団を通して各事業所及び職員のカンパで120万円ほど寄付させて頂きました。また、横浜市中区にある寿町へのボランティア活動も継続しております。また、法人の財政の悪化に伴い今年度は海外スタディツアーを実施しませんでした。

## **2. 法人運営に関する事項**

- ①平成30年度第は、理事会を4回開催、評議員会を3回開催しました
- ②四役会議（21）
- ③理事懇談会（10）
- ④所長宿泊研修会（0）
- ⑤法人防災訓練（通所、GH）（各2）

## **3. 事故検証委員会に関する事項**

- ①グループホームにおける事故・事件の原因を解明するために、法人内に事故検証委員会を設置し解明に努力し再発を防ぐ努力をしています。（検証委員会5回）
- ②日中支援事業所の利用者さんの怪我について（検証委員会4回）
- ③日中支援事業所の納品途上における人身車両事故（検証委員会3回）
- ④日中支援事業所における送迎中の人身車両事故（検証委員会5回）
- ⑤日中支援事業所における送迎中の車両事故（検証委員会3回）

## **4. 法人定例会議に関する事項**

- ① 所長会議（12）、経営企画会議（12）、エリアマネージャー会議（12）、執行役員会（12）、生活介護部会（6）、生産活動部会（12）、就労支援部会（11）、保育部会（12）、児童発達支援部会（12）、看護医療部会（8）、介護保険事業部会（8）、精神保健部会（11）、全ホーム部会（7）、相談支援部会（0）、社会福祉士専門部会（2）、事務員会議（12）、実践報告会実行委員会（3）

## **5. 採用に関する事項**

- ①就職説明会（32回）（参加81名）
- ②採用試験（参加35名・内定17名、）
- ③採用面接（35名）
- ④採用内定者合計（17名）
- ⑤内定者懇談会（3）

## **6. 新規事業に関する事項**

- ①「ウイアー」4月から地域活動センターから就労継続支援B型事業へ移行
- ②グループホーム「ルエーダ今田」の4月開設、10名定員
- ③「カモミール横山台」定員12名で日中サービス支援型共同生活援助事業開設、12名定員
- ④「国分寺台地域包括支援センター」4月開設
- ⑤「横浜市中山みどり園」特定相談支援事業、4月開設
- ⑥「花音座間」9月より相談支援事業開設

## **7. 外部会議に関する事項**

- ①神奈川県保健福祉局県民局幹部意見交換会（0）
- ②藤沢市民間保育園代表者会議（6）
- ③藤沢障害福祉法人協議会（6）
- ④津久井やまゆり園入所者の今後を考える会（3）
- ⑤神奈川県社会福祉協議会経営者部会（6）

## **8. 内部監査（40）**

## **9. 社会貢献及び国際貢献**

- ①社会貢献活動推進委員会（5回）（活動：横浜市寿町18回）
- ②国際貢献委員会（1）

**10. その他の業務**

①就業規則改定委員会（8）

**11. 会計監査人に関する事項**

①事業所監査（5）

②法人本部調査（3）

**12. 採用職員**

常勤＝56名 非常勤職員＝136名

**13. 退職者**

常勤＝44名 非常勤職員＝193名